



平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 朝日インテック株式会社
 コード番号 7747 URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 昌彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 瑞穂

TEL 052-768-1211

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	31,579	4.1	9,434	6.2	9,647	10.5	6,573	4.4
28年6月期第3四半期	30,345	16.4	8,883	36.2	8,732	26.2	6,298	33.9

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 8,111百万円 (72.7%) 28年6月期第3四半期 4,695百万円 (32.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	103.67	102.89
28年6月期第3四半期	99.61	98.63

(注) 当社は、平成27年8月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	55,659	39,070	70.2
28年6月期	50,286	32,263	64.1

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 39,061百万円 28年6月期 32,243百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		30.00	30.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)				27.40	27.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,005	1.2	10,053	0.5	9,996	5.0	6,928	0.3	109.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) ASAHI INTECC LATIN LTDA.、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期3Q	64,472,000 株	28年6月期	64,148,800 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

29年6月期3Q	911,890 株	28年6月期	911,890 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期3Q	63,411,719 株	28年6月期3Q	63,229,137 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 地域ごとの情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、現在進行している中期経営計画『Global Expansion 2018』において、「グローバル規模での収益基盤の強化」「患部・治療領域の拡大と製品ポートフォリオの拡充」「素材研究・生産技術の強化によるイノベーション創出」「グループマネジメントの最適化」を経営戦略に掲げ、企業価値向上に取り組んでおります。

その実現に向けた施策として、当第3四半期連結累計期間では、国内市場にて、循環器系領域の高耐圧用PTCAバルーンカテーテル「NC-KAMUI(エヌシーカムイ)」や、新たな事業領域分野である胆管・膵管・消化管分野の内視鏡ガイドワイヤー「M-Through™(エムスルー)」などを販売開始いたしました。また海外市場では、日本市場で既に販売し高い評価を得ております製品群の展開を進め、欧州では循環器系領域の貫通カテーテル「Caravel(カラベル)」「Corsair Pro(コルセアプロ)」、PTCAガイディングカテーテル「Hyperion(ハイペリオン)」を米国では、循環器系領域の貫通カテーテル「Corsair Pro(コルセアプロ)」などを販売開始いたしました。また、中国市場では、循環器系領域の製品群について、複数代理店に販売する方式に販売戦略を変更いたしました。また、平成30年7月竣工を目処に当社瀬戸工場(愛知県瀬戸市)の敷地内に、研究開発環境の充実を主たる目的として本社移転も視野に入れた新社屋を建設することや、当社グループの金型・射出成形などの精密加工技術の開発の中心拠点として、平成30年7月頃を目処に新たに「東北R&Dセンター」を設立することを決定いたしました。

今後におきましても、中期経営計画に基づく成長戦略を着実に進めていくことにより、企業価値の拡大を目指してまいります。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、為替動向及び医療償還価格の下落などの外部要因影響があるものの、メディカル事業の海外売上高を中心に引き続き需要が堅調に推移し、315億79百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

売上総利益は、好調な受注と生産性の向上などに伴い売上総利益率が上昇し、212億98百万円(同6.5%増)となりました。

営業利益は、研究開発費や海外市場における販売・マーケティングの強化に伴う営業関係費用の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、94億34百万円(同6.2%増)となりました。

経常利益は、固定資産売却益が減少した一方、為替差益が増加し96億47百万円(同10.5%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に投資有価証券評価損を計上したものの、65億73百万円(同4.4%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

- 1米ドル=108.31円(前年同期119.41円、比9.3%減)
- 1タイバーツ=3.09円(前年同期3.34円、比7.5%減)
- 1ユーロ=117.64円(前年同期132.00円、比10.9%減)
- 1中国元=15.95円(前年同期18.54円、比14.0%減)

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(メディカル事業)

メディカル事業は、為替動向及び医療償還価格の下落の外部要因影響があるものの、国内・海外市場ともに需要は堅調であり、順調に推移いたしました。

国内市場においては、平成28年4月の医療償還価格の引下げによる影響を受けたものの、循環器系領域の貫通カテーテルが新製品「SASUKE(サスケ)」を中心に大きく伸張し、増加いたしました。

海外市場においては、為替影響を受けたものの、循環器系領域のPTCAガイドワイヤーや貫通カテーテル及び末梢血管系領域のペリフェラルガイドワイヤーの取引が好調な為、売上高は増加いたしました。なお、中国市場の循環器系領域の製品は、平成28年7月より複数代理店に販売する方式に販売戦略を変更したことから、受注数量が大幅に増加し、順調に推移しております。

以上の結果、売上高は251億48百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

また、セグメント利益は、研究開発費及び営業関係費用の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加と売上総利益率の上昇などにより、88億8百万円(同4.0%増)となりました。

(デバイス事業)

デバイス事業は、医療部材及び産業部材の売上高が共に横ばいに推移いたしました。

医療部材については、為替影響や米国向け腹部血管系カテーテル部材取引により減少したものの、アジア向け内視鏡処置具部材の受注が増加するなどし、売上高は横ばいに推移いたしました。

産業部材につきましては、為替影響や米国向けレジャー取引などの減少があるものの、国内の建材関係の取引が増加したことなどにより、売上高は横ばいに推移いたしました。

以上の結果、売上高は64億30百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

また、セグメント利益は、セグメント間取引の増加や売上総利益率の上昇などにより、20億75百万円（同10.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が556億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億72百万円増加しております。主な要因は、現金及び預金が10億8百万円、受取手形及び売掛金が10億19百万円、原材料及び貯蔵品が2億98百万円、仕掛品が2億3百万円、その他流動資産が2億35百万円及び有形固定資産が22億58百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が165億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億33百万円減少しております。主な要因は、短期借入金が17億2百万円増加した一方、長期借入金が33億79百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が390億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ68億6百万円増加しております。主な要因は、資本金が3億1百万円、資本剰余金が3億1百万円、利益剰余金が46億76百万円及び為替換算調整勘定が14億92百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想に比べて大変好調に推移いたしました。連結業績予想の見直しにつきましては、当第3四半期連結会計期間で未発生が今後発生し、さらに追加の先行投資費用などを第4四半期会計期間に計上する予定などから、修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第3四半期連結会計期間より、新たに設立したASAHI INTECC LATIN LTDA. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,935,673	13,944,268
受取手形及び売掛金	6,946,888	7,966,290
電子記録債権	392,200	653,629
商品及び製品	2,594,989	2,676,505
仕掛品	2,833,207	3,037,070
原材料及び貯蔵品	2,866,561	3,164,700
その他	1,796,777	2,032,138
貸倒引当金	△14,305	△16,063
流動資産合計	30,351,993	33,458,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,041,567	6,708,398
その他(純額)	9,864,612	11,456,076
有形固定資産合計	15,906,179	18,164,475
無形固定資産	605,092	589,039
投資その他の資産	3,423,290	3,447,364
固定資産合計	19,934,562	22,200,880
資産合計	50,286,556	55,659,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,387,105	1,420,944
電子記録債務	299,204	345,184
短期借入金	3,092,121	4,794,610
未払法人税等	1,011,514	1,370,510
賞与引当金	417,905	591,133
その他	3,169,601	2,469,144
流動負債合計	9,377,451	10,991,527
固定負債		
長期借入金	6,361,095	2,981,108
役員退職慰労引当金	662,253	24,908
退職給付に係る負債	765,587	788,862
その他	856,495	1,802,611
固定負債合計	8,645,430	5,597,490
負債合計	18,022,882	16,589,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,370,040	4,672,015
資本剰余金	6,109,376	6,411,351
利益剰余金	24,498,164	29,174,608
自己株式	△3,006,382	△3,006,382
株主資本合計	31,971,199	37,251,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	660,036	688,217
為替換算調整勘定	△302,526	1,190,367
退職給付に係る調整累計額	△84,915	△68,499
その他の包括利益累計額合計	272,594	1,810,085
新株予約権	19,880	8,725
純資産合計	32,263,674	39,070,403
負債純資産合計	50,286,556	55,659,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	30,345,772	31,579,205
売上原価	10,351,326	10,281,024
売上総利益	19,994,445	21,298,180
販売費及び一般管理費	11,111,038	11,864,038
営業利益	8,883,407	9,434,141
営業外収益		
受取利息	5,105	9,410
受取配当金	12,997	14,310
為替差益	-	218,768
その他	185,486	82,285
営業外収益合計	203,588	324,775
営業外費用		
支払利息	23,958	31,019
固定資産除売却損	5,977	37,640
為替差損	313,434	-
その他	10,655	42,661
営業外費用合計	354,025	111,321
経常利益	8,732,970	9,647,595
特別利益		
新株予約権戻入益	91	691
特別利益合計	91	691
特別損失		
投資有価証券評価損	750	147,252
その他	7,204	4,120
特別損失合計	7,954	151,372
税金等調整前四半期純利益	8,725,107	9,496,913
法人税、住民税及び事業税	2,305,576	2,544,353
法人税等調整額	121,476	379,008
法人税等合計	2,427,052	2,923,361
四半期純利益	6,298,054	6,573,551
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,298,054	6,573,551

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	6,298,054	6,573,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57,167	28,181
為替換算調整勘定	△1,552,792	1,492,893
退職給付に係る調整額	7,389	16,415
その他の包括利益合計	△1,602,570	1,537,490
四半期包括利益	4,695,483	8,111,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,695,483	8,111,041

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,896,987	6,448,785	30,345,772	—	30,345,772
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,140	1,526,290	1,555,430	△1,555,430	—
計	23,926,127	7,975,075	31,901,203	△1,555,430	30,345,772
セグメント利益	8,470,030	1,887,532	10,357,563	△1,474,155	8,883,407

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,474,155千円は、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,148,411	6,430,793	31,579,205	—	31,579,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,931	1,765,549	1,816,481	△1,816,481	—
計	25,199,343	8,196,343	33,395,686	△1,816,481	31,579,205
セグメント利益	8,808,622	2,075,526	10,884,148	△1,450,007	9,434,141

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,450,007千円は、セグメント間取引消去と各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 地域ごとの情報

売上高

(単位：千円)

日本	アジア	米国	欧州・中近東	その他	合計
13,541,984	5,974,226	6,269,474	5,160,223	633,295	31,579,205